

ソフトウェア開発者マニュアル

ラスターコマンドリファレンス

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB / 3050 / 3150

RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150

Version 1.06

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

ブラザーは、ブラザー工業株式会社の登録商標です。

© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本ガイドに製品名が記載されている各ソフトウェアの開発会社は、著作プログラムに特定したソフトウェアライセンス契約を有します。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書について

ご注意

本資料は、お客様が直接 RJ-XXXX プリンター(「XXXX」は、お客様がお持ちのモデル名)を制御される場合に必要な情報を提供するものです。

お客様が以下の内容にご同意いただいた場合のみ、本資料のご利用が可能です。

もしご同意いただけない場合は、お客様は本資料をご利用いただけません。

ご利用条件

お客様は、お客様ご自身で RJ-XXXX プリンターをご利用いただくため(以下「本目的」といいます)に必要な範囲においてのみ、本資料を使用し、複製することができるものとします。なお、お客様は次のことを行ってはならないものとします。

- (i) 本目的以外の目的で本資料を複製すること
- (ii) 本資料を改変し、翻案・翻訳し、または第三者に再頒布すること
- (iii) 本資料を第三者に貸与・提供すること
- (iv) 本資料に含まれるブラザーの権利に関する表示を削除・改変すること

無保証

- a. 対応モデルおよび本資料のバージョンアップや修正等はブラザーが任意で行うものとし、お客様からの本資料の内容に関するお問い合わせまたはご要望に対しては一切応じかねます。
- b. ブラザーは本資料に関し、明示または黙示であるかを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合することを含め、その他いかなる保証も行いません。
- c. ブラザーは本資料および本資料に基づきお客様が作成したプログラムに起因して発生した直接的または間接的損害について、お客様に対し、いかなる責任も負わないものとします。

更新履歴

バージョン	日時	修正内容
1.00	2014/7/11	RJ-3050 / 3150 新規作成
1.01	2016/10/4	RJ-2030 / 2050 / 2140 / 2150 の情報を追加
1.02	2018/4/16	RJ-4230B の情報を追加
1.03	2018/8/27	RJ-4250WB の情報を追加
1.04	2021/04/20	RJ-3230B / 3250WB の情報を追加 付録 A: USB 仕様 を削除した。
1.05	2025/10/01	RJ-4235B / 4255WB / 3235B / 3255WB の情報を追加
1.06	2026/07/15	RJ-2031 / 2131 の情報を追加

 目次

本書について.....	iii
更新履歴.....	iv
1. はじめに.....	1
2. プリンターラスタデータとは.....	2
3. ラスタデータの印刷手順.....	3
4. 印刷データ.....	5
4.1 印刷データ概要.....	5
4.2 サンプル（テストページの印刷データ解析）.....	8
4.2.1 事前の準備.....	8
4.2.2 印刷データを確認する手順.....	10
4.2.3 テストページの印刷データの解説.....	13
4.3 ページデータ詳細.....	15
4.3.1 解像度.....	15
4.3.2 用紙サイズ.....	15
4.3.3 フィード量.....	19
4.3.4 幅の最大・最小.....	19
4.3.5 長さの最大・最小長.....	19
4.3.6 ラスタライン.....	20
5. ステータス.....	25
5.1 ステータス概要.....	25
5.2 各部定義.....	27
5.2.1 シリーズ・機種.....	27
5.2.2 エラー情報 1.....	27
5.2.3 エラー情報 2.....	28
5.2.4 メディア幅、長さ.....	29
5.2.5 メディア種類.....	30
5.2.6 ステータス種類.....	31
5.2.7 フェーズ種類、フェーズ番号.....	31
5.2.8 通知番号.....	32
5.2.9 電池残量.....	33
6. 印刷コマンド一覧.....	34
7. 印刷コマンド詳細.....	35
NULL 無効指令.....	35
ESC @ 初期化.....	35
ESC i S ステータス情報リクエスト.....	35
ESC i a 動的コマンドモード切り替え.....	36
ESC i ! ステータス自動通知モード切り替え.....	36
ESC i U w 媒体情報追加コマンド.....	37
ESC i z 印刷情報指令.....	39
ESC i d 余白量（フィード量）指定.....	40
ESC i CAN キャンセル.....	41
ESC i M 各種モード設定.....	41
ESC i w 印刷後ウェイト指定.....	42
M 圧縮モード選択.....	42
g ラスタグラフィックス転送.....	45
Z ゼロラスタグラフィックス.....	45
FF 印字指令.....	45
Control-Z 排出動作を伴う印字指令.....	45
8. 本体フロー.....	46
8.1 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷通常フロー.....	47

8.2 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷エラーフロー	48
8.3 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷クーリングフロー	49
8.4 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷剥離待ち / 再開フロー.....	50
8.5 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷キャンセルフロー.....	51
8.6 ネットワーク (標準 TCP/IP ポート) 接続バッファリング印刷通常フロー	52
付録 A: 開発者ツールサイト(Brother Developer Center)のご紹介	53

1. はじめに

本資料は、弊社が提供するプリンタードライバーを使用しないで RJ-XXXX(「XXXX」はモデル名)で印刷したいお客様に、必要な情報を提供するものです。

お使いの OS と開発環境での USB/ネットワークの基本的な制御について、お客様が熟知されている前提で本書は説明しています。

また、USB IF に付きましては、本資料では言及いたしません。

本資料の使用は、お客様の責任においてこれを行って頂くものとし、本資料に基づき、お客様が作成されたプログラムによって発生するいかなるトラブル(ソフトウェア及びデータ、RJ-XXXX を含む機器、及び、それらから直接または間接に発生するあらゆるトラブル)も保証いたしかねます。

また、本資料に記載の機能は現状有姿のまま提供されるものであり、本資料の内容に関するいかなる責任等も負いかねます。その点をご承知の上で、本資料を参照してください。

本資料の一部または全部の無断転載を禁止いたします。

また、本資料を訴訟、係争などで弊社が不利になる証拠として使用できません。

本資料の画面に登場するモデル名は、お使いのプリンターのモデルに置き換えてお読みください。

2. プリンターラスターデータとは

弊社のプリンタードライバーを使用しないで RJ-XXXX (「XXXX」はモデル名)を用いた印刷ができます。

そのため、以下のような場合に便利です。

- Windows 以外の OS から印刷したい場合
(例: Linux PC、モバイル端末等から印刷する場合)
- 既存のシステムに印刷機能を追加したい場合

また、詳細な設定の印刷ができます。

本資料における「ラスター」は、2 値化されたビットマップデータ(ドットの集合)を示します。

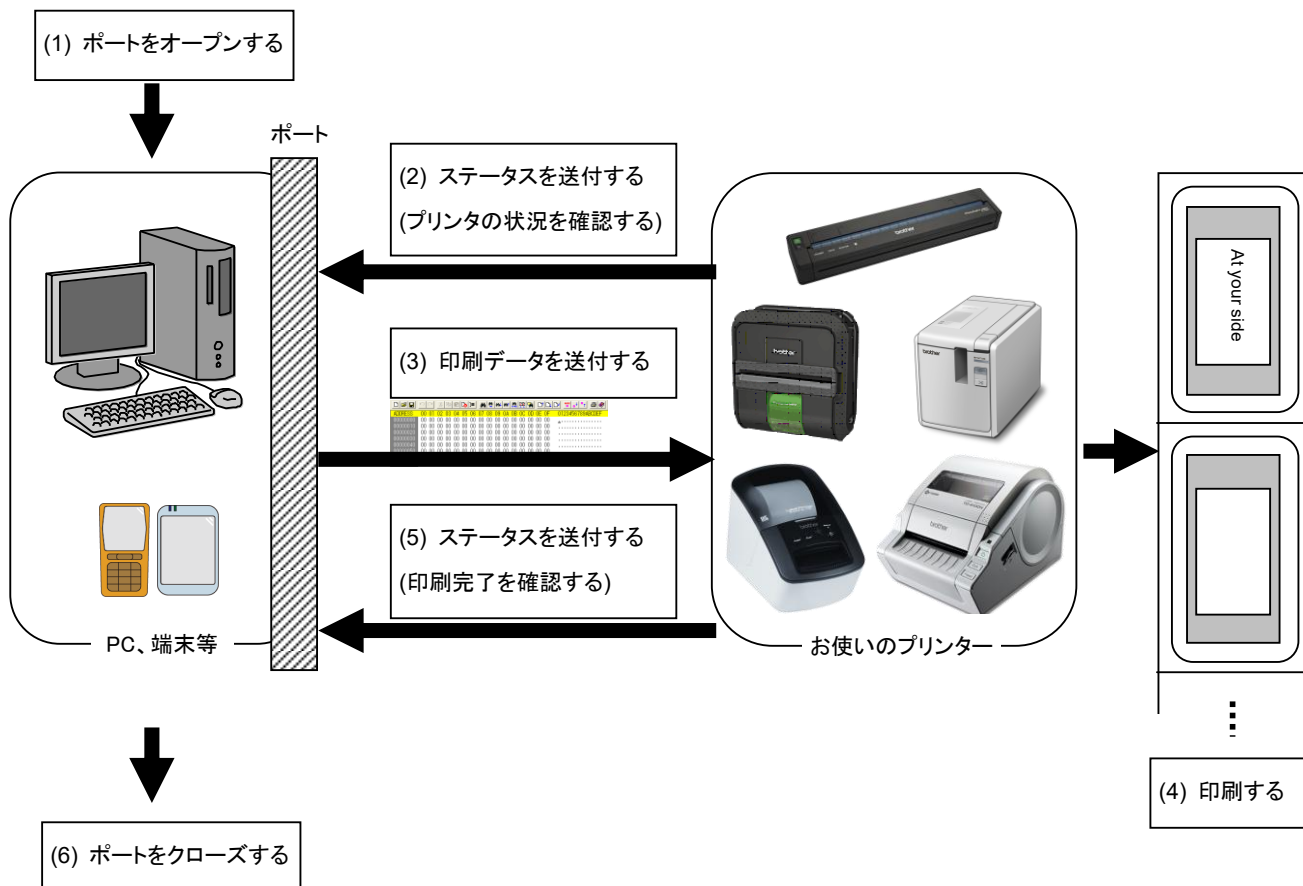
本資料を参照し、ラスターデータに初期化コマンドや制御コードを付与してプリンター本体(以降、「本体」)に送ると、印刷が実現されます。

本書では、このコードを付与し、データを送信する方法について説明をします。

3. ラスターデータの印刷手順

以下に印刷手順を説明します。

詳細なフローは「[8. 本体フロー](#)」を参照してください。個々のコマンドの詳細は、「[7. 印刷コマンド詳細](#)」を参照してください。



(1) USB / ネットワークポートをオープンする

ご利用の環境で USB / ネットワークポートをオープンします。ポートのオープン方法は本資料では言及しません。

(2) プリンターから送付されたステータスを確認する

「ステータス情報リクエスト」コマンドをプリンターに送信し、プリンターから返されるステータスを解析して、本体の状況を把握します。「ステータス情報リクエスト」コマンドと「ステータス」の定義については、「[7. 印刷コマンド詳細](#)」の「ステータス情報リクエスト」を参照ください。

(3) 印刷データを送信する

ステータスの解析により、本体に印字データに対応した用紙が装着され、かつ、エラーが発生していないことを確認したら、印刷データを送信します。印刷データの構造は「[4. 印刷データ](#)」で説明します。

注意:

印刷データを送信した後、印字終了を確認するまで、本体にいかなるコマンドも送信することはできません。
「ステータス情報リクエスト」コマンドも印刷中に送信できません。

(4) 印刷する

(5) 印字終了状況を確認する

印刷が終了すると、本体からステータスを受け取ります。このステータスを解析して印刷終了ならば、1 ページ分の印刷が終了したことになります。ジョブが複数ページからなる場合には(2)～(4)を繰り返してください。

(6) USB / ネットワークポートをクローズする

すべての印刷が終了したら、ポートをクローズします。

4. 印刷データ

4.1 印刷データ概要

印刷データは大きく分けて、(1) 初期化コマンド、(2) 制御コード、(3) ラスターデータ、(4) 印字指令から構成されます。ジョブが複数ページからなる場合には、(2)～(4)を繰り返します。

(1) 初期化コマンド

ジョブの先頭で1度だけ指定します。

順序	コマンド名称	説明 / 例
1	無効指令	RJ-4250WB / 4230B, RJ-3050 / 3150 / 3230B / 3250WB では 350 バイト分、 RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 / 3235B / 3255WB / 4255WB / 4235B では 661 バイト分の無効指令を送り、プリンターの コマンド受信状態をリセットします。
2	初期化	印刷のための初期化をします。 1Bh, 40h (固定値)

(2) 制御コード

各ページの先頭に付けて毎ページ送ります。

順序	コマンド名称	説明 / 例
1	動的コマンドモード切り替え	本体のコマンドモードをラスターモードに切り替えます。 1Bh, 69h, 61h, 01h
2	ステータス自動通知モード切り替え	RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B, RJ-3230B / RJ-3250WB で使用します。 動的に、印刷中にステータスを自動的に通知するか、通知しないかを切り替えます。 ステータスを自動的に通知する場合： 1Bh, 69h, 21h, 00h
3	媒体情報追加コマンド	1Bh, 69h, 55h, 77h, 01h + [媒体情報の 127 バイト] 前回印刷時と同じ媒体情報であれば、媒体情報追加コマンドを送る必要はありません。
4	印刷情報指令	印字情報をセットします。 80mm 幅の長尺テープで、長さの設定が 100mm の場合： 1Bh, 69h, 7Ah, 00h, 0Ah, 50h, 64h, F0h, 02h, 00h, 00h, 00h, 00h
5	各種モード設定	180 度回転が ON のとき、 1Bh, 69h, 4Dh, 08h
6	印刷後ウェイト指定	RJ-4255WB / 4235B RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B で使用します。 ページ間でウェイトなし印刷する場合： 1Bh, 69h, 77h, 00h

7	余白量指定	余白量を指定します。 余白量が 3 mm の場合： 1Bh, 69h, 64h, 18h, 00h
8	圧縮モード選択	ラスターグラフィックの圧縮モードを選択します。 TIFF 圧縮されたデータを送信する場合： 4Dh, 02h

(3) ラスターデータ

ジョブに含まれるページ分繰り返します。

順序	コマンド名称	説明／例
—	ラスターグラフィック転送	ピクセルが ON であるデータを含むラスターラインを送ります。
—	ゼロラスターグラフィックス	すべてのピクセルが 0 であるラスターラインを送ります。 5Ah (固定値)

(4) 印字指令

ページの末尾に指定されます。

順序	コマンド名称	説明／例
—	印字指令	最後でないページの末尾に指定します。0Ch(固定値)
—	排出を伴う印字指令	最後のページの末尾に指定します。1Ah(固定値)

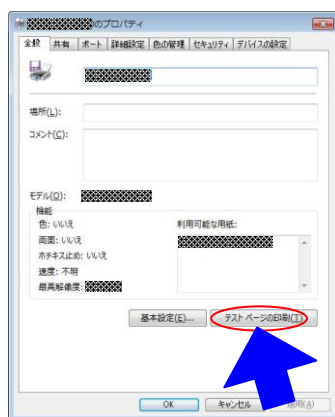
4.2 サンプル（テストページの印刷データ解析）

ここでは、プリンタードライバーが作成した印刷データについて解説します。

プリンタープロパティで【テストページ】を印刷した場合を例にして印刷データを確認します。

印刷データはプリンターの印刷設定によって異なりますので、様々な印刷設定で試し、印刷データを作成する際の参考にしてください。

なお、説明は Windows® 11 環境で行います。ご利用の環境が異なる場合は、同等の手順で行ってください。



プリンタープロパティ

4.2.1 事前の準備

以下の 2 つをあらかじめインストールしてください。

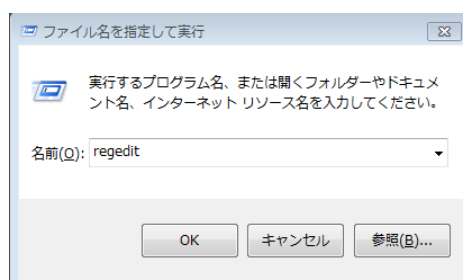
- ・ 弊社 RJ-XXXX プリンタードライバー
- ・ バイナリエディター

サンプルで確認していただくデータは 2 進化されたファイル（バイナリファイル）です。

そのため、バイナリファイルの内容は、バイナリエディターを使って表示／確認してください。

***RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B / 3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B をお使いの場合は**
下記の手順でレジストリの設定をしてください。

- 1: **【ファイル名を指定して実行】**（ショートカットキー「Win」＋「R」）を開きます。
- 2: 「regedit」と入力し、**【OK】**をクリックします。UAC が表示された場合には、**【はい】**をクリックします。



ファイル名を指定して実行

3: レジストリエディターが起動されるので、画面左のツリービューより下記のパスを開きます。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Brother Industries, Ltd.\P-touch\Driver\3.0<ドライバー名>

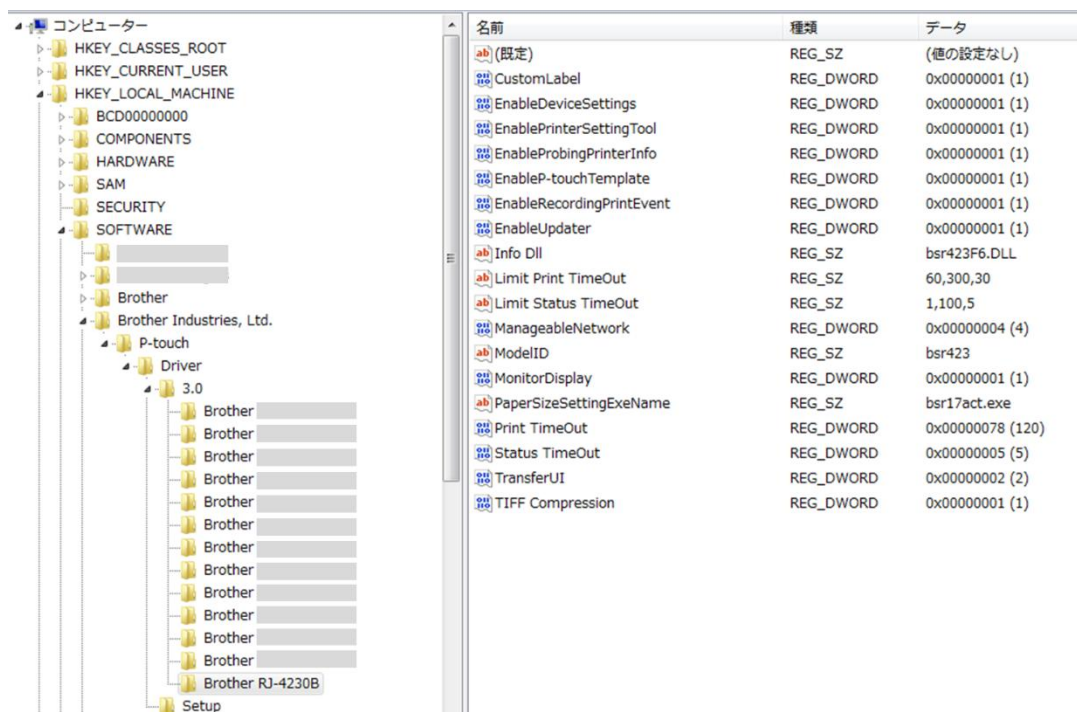
プリンター	ドライバー名
RJ-4255WB	Brother RJ-4255WB
RJ-4235B	Brother RJ-4235B
RJ-4250WB	Brother RJ-4250WB
RJ-4230B	Brother RJ-4230B
RJ-3255WB	Brother RJ-3255WB
RJ-3235B	Brother RJ-3235B
RJ-3250WB	Brother RJ-3250WB
RJ-3230B	Brother RJ-3230B

4: 右側ウィンドウで右クリックし、**[新規]→[DWORD(32ビット)値]**を選択します。

5: 追加されたキーの名前を**[TIFF Compression]**に変更します。

6: 追加したキーを右クリックし、**[修正]**を選択します。

7: 編集ダイアログが表示されるので、**[値のデータ]**の値を「1」に変更します。



レジストリエディター(レジストリキー「TIFF Compression」追加後)

4.2.2 印刷データを確認する手順

印刷データを確認する手順は、以下のとおりです。

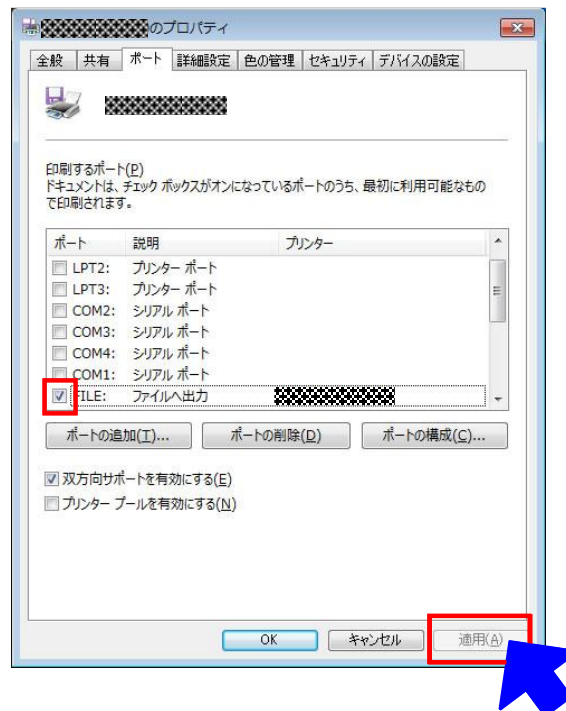
ステップ 1: 対象プリンターのポートを「FILE:」に変更します。

ステップ 2: お好きな印刷物（ここでは「テストページ」）を印刷し、ファイル名を指定します。

ステップ 3: 作成したファイルをバイナリエディターで開き、確認します。

ステップ 1: 対象プリンターのポートを「FILE:」に変更します。

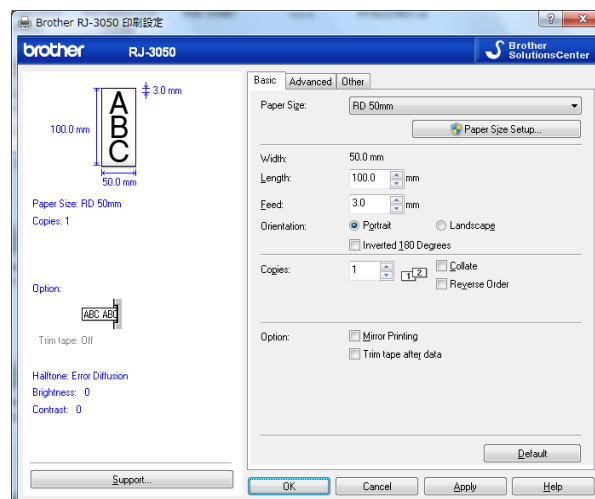
[デバイスとプリンター]フォルダーを開き、対象プリンターを右クリックして、プロパティ画面を表示します。プロパティ画面の[ポート]タブを選択し、[FILE:]をクリックして[適用]ボタンをクリックします。



プリンタープロパティの[ポート]タブ

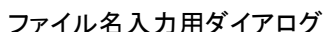
ステップ 2: 印刷物(テストページ)を印刷し、ファイル名を指定します。

今回は、印刷設定はドライバーインストール直後のデフォルト状態で、テストページを印刷してください。(下図は RJ-3050)



ドライバーインストール直後のデフォルト状態

任意のファイル名を入力して[OK]をクリックすると、プリンタードライバーが印刷データを作成し、入力したファイル名で保存します。



印刷データは「[4.1 印刷データ概要](#)」で説明した (1) 初期化コマンド、(2) 制御コード、(3) ラスターデータ、(4) 印字指令から構成されています。印刷データの詳細は、「[4.2.3 テストページの印刷データの解説](#)」を参照してください。

(1) 初期化コマンド

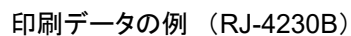
(2) 制御コード

(3) ラスターデータ

(4) 印字指令

印刷データ

以下の図は、「[4.2.1 事前の準備](#)」で作成した印刷データをバイナリエディターで表示したものです。



上記の印刷データの各番号に対応する説明を下記の表にまとめました。

各コマンドの詳細については「[7. 印刷コマンド詳細](#)」を参照してください。

番号	コマンド名称	説明
1	無効指令	350 バイト分の無効指令を送っていることが分かります。 (RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 / 3235B / 3255WB / 4255WB / 4235B の場合は 661 バイト分の無効指令を送ります。)
2	初期化	初期化コマンドを送っています。
3	動的コマンドモード切り替え	プリンターをラスターモードに切り替えます。 プリンターにラスターデータを送信する前に、このコマンドを送ってください。
4	ジョブ ID 指定コマンド	内部仕様コマンドです。 製品版ドライバでは出力するコマンドですが、お客様の方で特に送る必要はありません。
5	媒体情報追加コマンド	用紙サイズ用の媒体情報追加コマンドを送ります。
6	印刷情報指令	印刷データの用紙サイズ情報を送ります。
7	各種モード設定 (1Bh + 69h + 4Dh + 00h)	ピーラー設定 (RJ-4235B / 4255WB / 3230B / 3250WB で使用可)
8	余白設定	余白量を指定するコマンドです。
9	圧縮モード選択	TIFF 圧縮を指定しています。
10	ラスターデータ	ラスターデータが続きます。(ゼロラスター含む)
11	排出を伴う印字指令	1 ページの印刷であるため、1 ページ目の最後に送ります。
12	ステータス自動通知モード切り替え	動的に、印刷中にステータスを自動的に通知するか、通知しないかを切り替えます。
13	動的コマンドモード切り替え	3.で切り替えたコマンドモードを本体デフォルトのモードにリセットします。 「排出を伴う印字指令」の後に、このコマンドを送ってください。

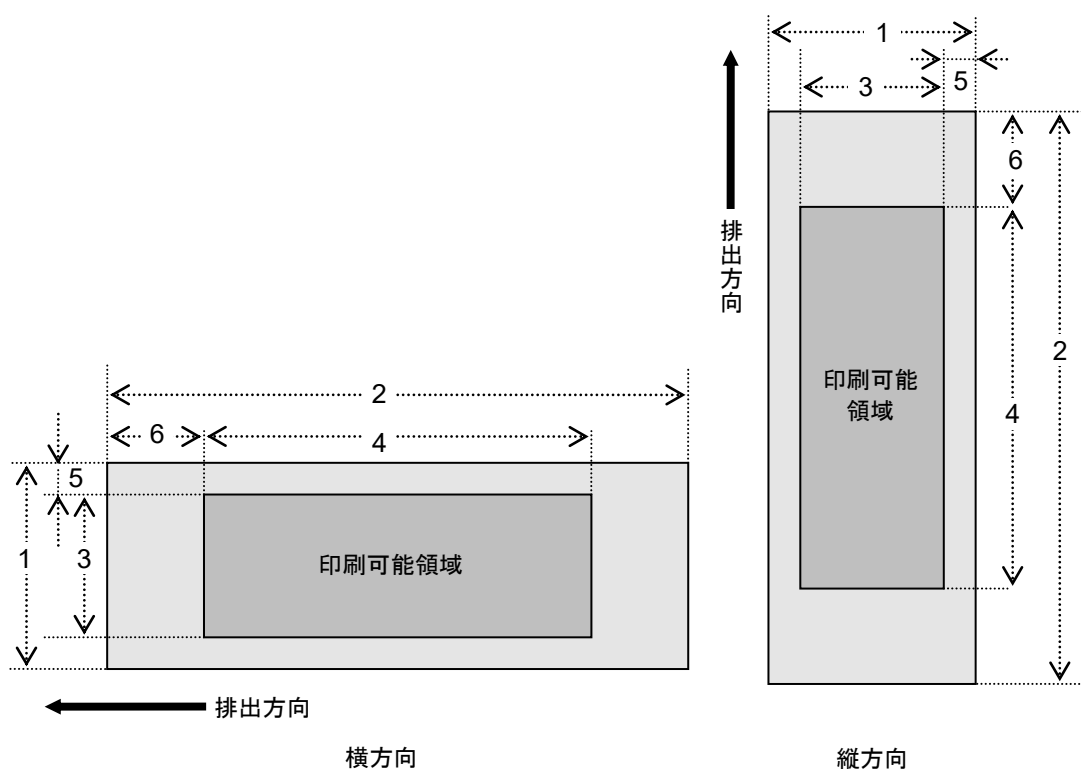
4.3 ページデータ詳細

4.3.1 解像度

解像度	縦横比
通常 縦方向 203 dpi、横方向 203 dpi	1:1

4.3.2 用紙サイズ

(1) 長尺テープ



番号	1 幅	2 長さ
	3 印刷可能領域幅(最大印字幅)	4 印刷可能領域長さ
	5 幅方向オフセット	6 長さ方向オフセット

RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150

ID	テープ種類	1	2	3	4	5	6
442	RD 50 mm RD 1.9"	50.0 mm 400 dots	→ 4.3.5	47.8 mm 382 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
426	RD 58 mm RD 2.2"	58.0 mm 464 dots	→ 4.3.5	54.1 mm 432 dots	→ 4.3.5	2.0 mm 16 dots	→ 4.3.3

RJ-3050 / 3150

ID	テープ種類	1	2	3	4	5	6
442	RD 50 mm RD 1.9"	50.0 mm 400 dots	→ 4.3.5	47.0 mm 376 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
426	RD 58 mm RD 2.2"	58.0 mm 464 dots	→ 4.3.5	55.1 mm 440 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
439	RD 76 mm RD 3.0"	76.2 mm 610 dots	→ 4.3.5	72.1 mm 576 dots	→ 4.3.5	2.1 mm 17 dots	→ 4.3.3
441	RD 80 mm RD 3.15"	80.0 mm 640 dots	→ 4.3.5	72.1 mm 576 dots	→ 4.3.5	4.0 mm 32 dots	→ 4.3.3

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB

ID	テープ種類	1	2	3	4	5	6
442	RD 50 mm RD 2.0"	50.8 mm 406 dots	→ 4.3.5	47.8 mm 382 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
426	RD 58 mm RD 2.2"	58.0 mm 464 dots	→ 4.3.5	55.1 mm 440 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
439	RD 76 mm RD 3.0"	76.2 mm 610 dots	→ 4.3.5	72.1 mm 576 dots	→ 4.3.5	2.1 mm 17 dots	→ 4.3.3
441	RD 80 mm RD 3.13" *1	80.0 mm 640 dots	→ 4.3.5	72.1 mm 576 dots	→ 4.3.5	4.0 mm 32 dots	→ 4.3.3

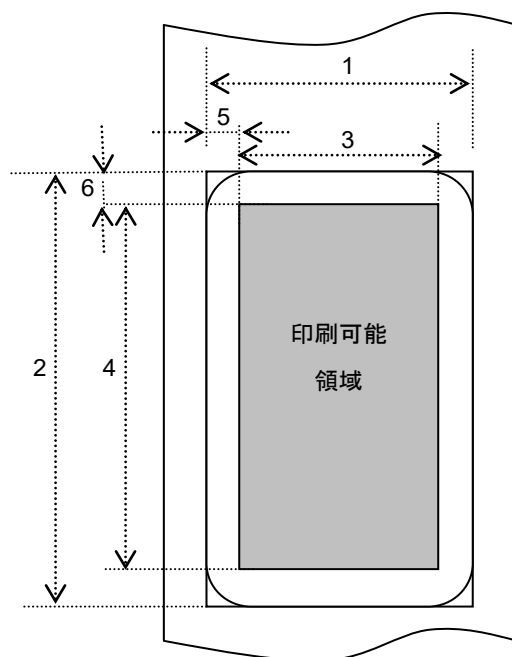
*1: RJ-3230B / 3250WB では、RD 3.15"

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB

ID	テープ種類	1	2	3	4	5	6
426	RD 58 mm RD 2.2"	58.0 mm 464 dots	→ 4.3.5	55.1 mm 440 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
441	RD 80 mm RD 3.13" *2	80.0 mm 640 dots	→ 4.3.5	72.1 mm 576 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3
415	RD 102 mm RD 4"	101.6 mm 812 dots	→ 4.3.5	98.6 mm 788 dots	→ 4.3.5	1.5 mm 12 dots	→ 4.3.3

*2: RJ-4230B / 4250WB では、RD 3.15"

(2) ダイカトラベル



番号	1 幅	2 長さ
	3 印刷可能領域幅(最大印字幅)	4 印刷可能領域長さ
	5 幅方向オフセット	6 長さ方向オフセット

RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150

ID	ラベル種類	1	2	3	4	5	6
427	RD 50 mm x 85 mm RD 1.9" x 3.3"	50.0 mm 400 dots	85.0 mm 679 dots	47.0 mm 376 dots	79.0 mm 632 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
422	RD 51 mm x 26 mm RD 2.0" x 1.0"	50.8 mm 406 dots	25.6 mm 205 dots	47.8 mm 382 dots	19.6 mm 157 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
446	RD 55 mm x 40 mm RD 2.1" x 1.5"	55.0 mm 440 dots	40.0 mm 320 dots	52.0 mm 416 dots	34.0 mm 272 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots

RJ-3050 / 3150

ID	ラベル種類	1	2	3	4	5	6
427	RD 50 mm x 85 mm RD 1.9" x 3.3"	50.0 mm 400 dots	85.0 mm 679 dots	47.0 mm 376 dots	79.0 mm 632 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
428	RD 60 mm x 92 mm RD 2.3" x 3.6"	60.0 mm 480 dots	92.0 mm 736 dots	57.1 mm 456 dots	86.1 mm 688 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
443	RD 76 mm x 44 mm RD 3.0" x 1.75"	76.2 mm 610 dots	44.4 mm 355 dots	72.1 mm 576 dots	38.4 mm 307 dots	2.1 mm 17 dots	3.0 mm 24 dots

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB

ID	ラベル種類	1	2	3	4	5	6
447	RD 51mm x 26mm RD 2.0" x 1.0"	50.8 mm 406 dots	25.6 mm 204 dots	47.8 mm 382 dots	19.6 mm 156 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
427	RD 50 mm x 85 mm RD 1.9" x 3.3"	50.0 mm 400 dots	85.0 mm 679 dots	47.0 mm 376 dots	79.0 mm 632 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
446	RD 55mm x 40mm RD 2.1" x 1.5"	55.0 mm 440 dots	40.0 mm 320 dots	52.0 mm 416 dots	34.0 mm 272 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
428	RD 60 mm x 92 mm RD 2.3" x 3.6"	60.0 mm 480 dots	92.0 mm 735 dots	57.1 mm 456 dots	86.1 mm 688 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
443	RD 76 mm x 44 mm RD 3.0" x 1.7"	76.2 mm 610 dots	44.4 mm 355 dots	72.1 mm 576 dots	38.4 mm 307 dots	2.1 mm 17 dots	3.0 mm 24 dots

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB

ID	ラベル種類	1	2	3	4	5	6
427	RD 50 mm x 85 mm RD 1.9" x 3.3"	50.0 mm 400 dots	85.0 mm 679 dots	47.0 mm 376 dots	79.0 mm 632 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
428	RD 60 mm x 92 mm RD 2.3" x 3.6"	60.0 mm 480 dots	92.0 mm 736 dots	57.1 mm 456 dots	86.1 mm 688 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
429	RD 80 mm x 115 mm RD 3.1" x 4.5"	80.0 mm 639 dots	115.0 mm 919 dots	77.1 mm 616 dots	108.1 mm 864 dots	1.5 mm 12 dots	3.5 mm 28 dots
419	RD 102 mm x 50 mm RD 4" x 2"	101.6 mm 812 dots	49.9 mm 399 dots	98.6 mm 788 dots	43.9 mm 351 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
424	RD 102 mm x 76 mm RD 4" x 3"	101.6 mm 812 dots	76.2 mm 609 dots	98.6 mm 788 dots	70.2 mm 561 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
425	RD 102 mm x 102 mm RD 4" x 4"	101.6 mm 812 dots	101.6 mm 812 dots	98.6 mm 788 dots	95.6 mm 764 dots	1.5 mm 12 dots	3.0 mm 24 dots
420	RD 102 mm x 152 mm RD 4" x 6"	101.6 mm 812 dots	152.4 mm 1218 dots	98.6 mm 788 dots	140.5 mm 1123 dots	1.5 mm 12 dots	6.0 mm 48 dots

4.3.3 フィード量

フィード量(前余白)を定義します。

種別	最小余白設定	最大余白設定
長尺テープ	3.0 mm 0.12" 24 dots	127.0 mm 5" 1015 dots
ダイカットラベル	表示上は「 4.3.2 用紙サイズ 」の「(2) ダイカットラベル」に記載の長さ方向オフセットを使用します。 ただし、余白用設定コマンドの数値は 0 にしてください。	

4.3.4 幅の最大・最小

印字領域の幅の最大長と最小を定義します。

種別	最小幅	最大幅		
長尺テープ ダイカットラベル	12.0mm 0.47" 96dots	RJ- 2031 / 2131 2030 / 2050 / 2140 / 2150	RJ- 3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB / 3050 / 3150	RJ- 4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB
		58.0 mm 2.28" 432 dots	72.0 mm 2.83" 576 dots	104.1 mm 4.09" 832 dots

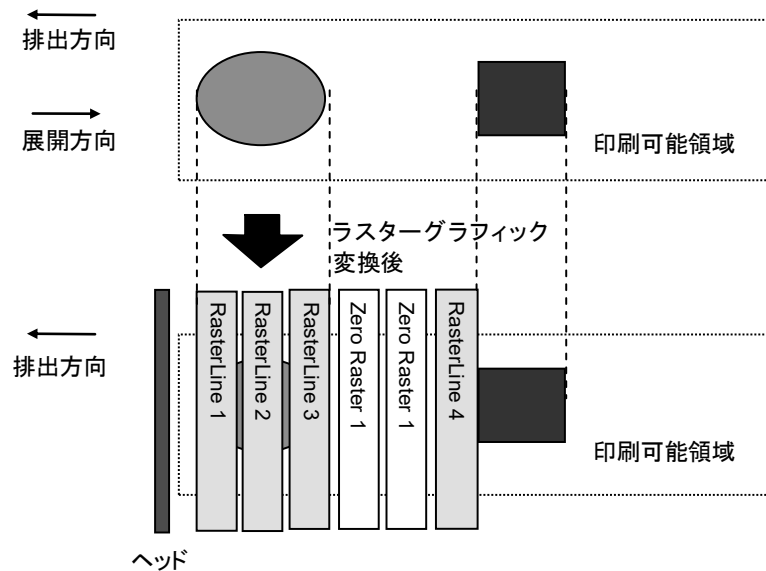
4.3.5 長さの最大・最小長

印字領域の長さの最大長と最小長を定義します。

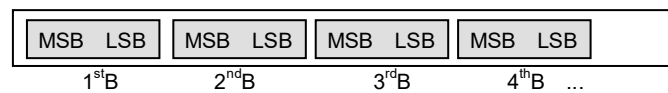
種別	最小長	最大長	
長尺テープ	12.0 mm 0.47" 96 dots	RJ- 2031 / 2131 2030 / 2050 / 2140 / 2150 / 3050 / 3150	RJ- 4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB
		1000.0 mm 39.37" 7992 dots	3000.0 mm 118.11" 23977 dots
ダイカットラベル	固定	固定	

4.3.6 ラスターライン

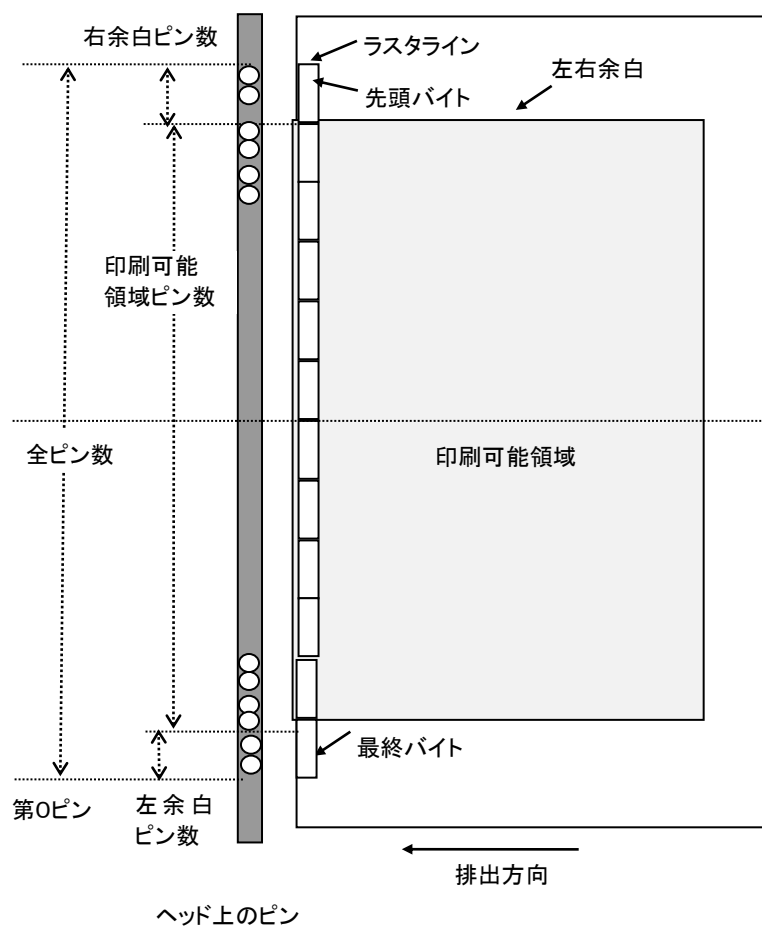
下図の様に印刷すべきデータがある部分を「ラスタグラフィック転送」で、データが無い部分を「ゼロラスタグラフィックス」に変換してください。実際のテープでは、始めと終わりに「各種モード設定」で指定された余白（フィード）が付加されます。



ラスタグラフィックスのパラメーターとピクセルの関係は次のとおりです。



RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 全ピン数 432 ピン



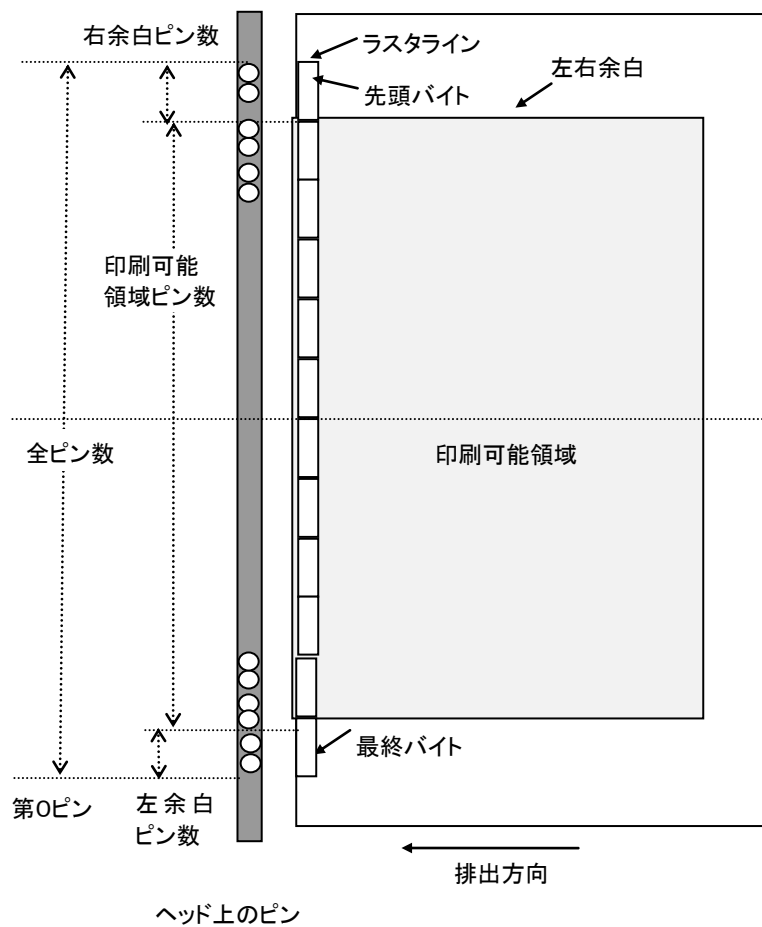
長尺テープ

テープ種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスタグラフィック転送の バイト数
50 mm	25	382	25	54
58 mm	0	432	0	54

ダイカットラベル

ダイカット種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスタグラフィック転送の バイト数
50 mm x 85 mm	28	376	28	54
51 mm x 26 mm	25	382	25	54
55 mm x 40 mm	8	416	8	54

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB / 3050 / 3150 全ピン数 576 ピン



長尺テープ

テープ種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスタグラフィック転送の バイト数
50 mm ^{*1}	100	376	100	72
50 mm ^{*2}	97	382	97	72
58 mm	68	440	68	72
76 mm	0	576	0	72
80 mm	0	576	0	72

*1: RJ-3050 / 3150

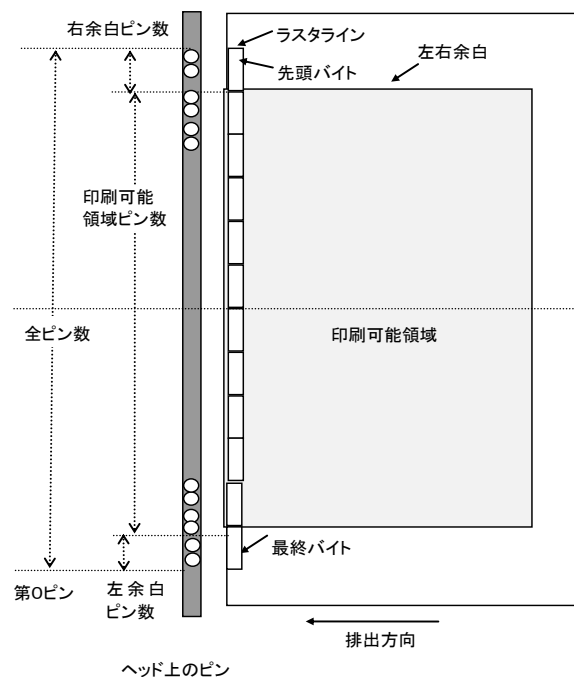
*2: RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB

ダイカットラベル RJ-3050 / 3150

ダイカット種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスターグラフィック転送の バイト数
50 mm x 85 mm	100	376	100	72
60 mm x 92 mm	60	456	60	72
76 mm x 44 mm	0	576	0	72

ダイカットラベル RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB

ダイカット種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスターグラフィック転送の バイト数
51 mm x 26 mm	97	382	97	72
50 mm x 85 mm	100	376	100	72
55 mm x 40 mm	80	416	80	72
60 mm x 92 mm	60	456	60	72
76 mm x 44 mm	0	576	0	72



長尺テープ

テープ種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスタグラフフィック転送の バイト数
58 mm	196	440	196	104
80 mm	128	576	128	104
102 mm	22	788	22	104

ダイカットラベル

ダイカット種類	左余白 ピン数	印刷可能領域 ピン数	右余白 ピン数	ラスタグラフフィック転送の バイト数
50 mm x 85 mm	228	376	228	104
60 mm x 92 mm	188	456	188	104
80 mm x 115 mm	108	616	108	104
102 mm x 50 mm	22	788	22	104
102 mm x 76 mm	22	788	22	104
102 mm x 102 mm	22	788	22	104
102 mm x 152 mm	22	788	22	104

5. ステータス

5.1 ステータス概要

ステータスは、「ステータス情報リクエスト」コマンドに対する応答、及び、エラー発生などの場合に本体からPCへ送られます。32 バイトの固定サイズです。

序数	オフセット	サイズ	名称	値／参照
1	0	1	ヘッドマーク	80h 固定
2	1	1	サイズ	20h 固定
3	2	1	「ブラザー」コード	“B” (42h) 固定
4	3	1	シリーズコード	5.2.1 シリーズ・機種 を参照してください。
5	4	1	機種コード	5.2.1 シリーズ・機種 を参照してください。
6	5	1	国別コード	“0” (30h) 固定
7	6	1	電池残量	5.2.9 電池残量 を参照してください。
8	7	1	予約	00h 固定
9	8	1	エラー情報1	5.2.2 エラー情報1 を参照してください。
10	9	1	エラー情報2	5.2.3 エラー情報2 を参照してください。
11	10	1	メディア幅	5.2.4 メディア幅、長さ を参照してください。
12	11	1	メディア種類	5.2.5 メディア種類 を参照してください。
13	12	1	色数	00h 固定
14	13	1	メディアの長さ(上位バイト)	00h 固定
15	14	1	メディアセンサー値	3Fh 固定
16	15	1	モード	00h: RJ-3050 / 3150 01h: RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150
17	16	1	濃度	00h 固定
18	17	1	メディア長さ(下位バイト)	5.2.4 メディア幅、長さ を参照してください。
19	18	1	ステータス種類	5.2.6 ステータス種類 を参照してください。
20	19	1	フェーズ種類	5.2.7 フェーズ種類、フェーズ番号 を参照してください。
21	20	1	フェーズ番号上位バイト	
22	21	1	フェーズ番号下位バイト	

23	22	1	通知番号	5.2.8 通知番号 を参照してください。
24	23	1	拡張部バイト数	00h 固定
25	24	8	予約	00h 固定

5.2 各部定義

5.2.1 シリーズ・機種

モデル名	ステータスコード	
	シリーズ	機種
RJ-2031	“7” (37h)	“K” (4Bh)
RJ-2131	“7” (37h)	“L” (4Ch)
RJ-2030	“7” (37h)	“6” (36h)
RJ-2050	“7” (37h)	“7” (37h)
RJ-2140	“7” (37h)	“8” (38h)
RJ-2150	“7” (37h)	“9” (39h)
RJ-3050	“7” (37h)	“3” (33h)
RJ-3150	“7” (37h)	“4” (34h)
RJ-3230B	“7” (37h)	“E” (45h)
RJ-3250WB	“7” (37h)	“F” (46h)
RJ-4230B	“7” (37h)	“C” (43h)
RJ-4250WB	“7” (37h)	“D” (44h)
RJ-3235B	“7” (37h)	“G” (47h)
RJ-3255WB	“7” (37h)	“H” (48h)
RJ-4235B	“7” (37h)	“I” (49h)
RJ-4255WB	“7” (37h)	“J” (4Ah)

5.2.2 エラー情報 1

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	(未使用)
Bit 1	02h	メディア無し
Bit 2	04h	(未使用)
Bit 3	08h	バッテリー弱
Bit 4	10h	(未使用)
Bit 5	20h	パワーオフ
Bit 6	40h	(未使用)
Bit 7	80h	(未使用)

5.2.3 エラー情報 2

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	(未使用)
Bit 1	02h	展開バッファフル
Bit 2	04h	通信エラー
Bit 3	08h	(未使用)
Bit 4	10h	印刷中カバーオープン
Bit 5	20h	高温エラー
Bit 6	40h	用紙送り不能(メディア終了でも使用されます)
Bit 7	80h	システムエラー

5.2.4 メディア幅、長さ

メディアの幅と長さを mm 単位で記述します。0 ~ 255 (FFh)。

(a) 長尺テープ

*メディア幅: テープの幅を mm で記述します。

*メディア長さ: 00h 固定です。

RJ-2031 / 2131 / 2140 / 2150 / 2030 / 2050

用紙	メディア幅	メディア長さ
50 mm	32h	00h
58 mm	3Ah	00h

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB / 3050 / 3150

用紙	メディア幅	メディア長さ
50 mm	32h	00h
58 mm	3Ah	00h
76 mm	4Ch	00h
80 mm	50h	00h

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB

用紙	メディア幅	メディア長さ
58 mm	3Ah	00h
102 mm	66h	00h

(b) ダイカットラベル

*メディア幅: ダイカット部分の幅を記述します。

*メディア長さ: ダイカット部の長さを記述します。

RJ-2031 / 2131 / 2140 / 2150 / 2030 / 2050

用紙	メディア幅	メディア長さ
50 mm x 85 mm	32h	55h
51 mm x 26 mm	33h	1Ah
55 mm x 40 mm	37h	28h

RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB / 3050 / 3150

用紙	メディア幅	メディア長さ
50mm x 25mm (RJ-3200)	32h	19h
50 mm x 85 mm	32h	55h
55mm x 40mm (RJ-3200)	37h	28h
60 mm x 92 mm	3Ch	5Ch
76 mm x 44 mm	4Ch	2Ch

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB

用紙	メディア幅	メディア長さ
50 mm x 85 mm	32h	55h
60 mm x 92 mm	3Ch	5Ch
80 mm x 115 mm	50h	73h
102 mm x 50 mm	66h	32h
102 mm x 76 mm	66h	4Ch
102 mm x 102 mm	66h	66h
102 mm x 152 mm	66h	98h

5.2.5 メディア種類

メディア種類	値
長尺テープ	4Ah
ダイカットラベル	4Bh

5.2.6 ステータス種類

ステータス種類	値
ステータスリクエストへの返信	00h
印刷終了	01h
エラー発生	02h
IF モード終了	03h（未使用）
パワーオフ	04h
通知	05h
フェーズ変更	06h
（未使用）	07h ~ 20h
（使用不可）	21h ~ FFh

5.2.7 フェーズ種類、フェーズ番号

フェーズ番号を使用しない場合は、ともに 00h 固定です。

フェーズ種類	値
受信状態	00h
印字状態	01h

受信状態

フェーズ	数値 (Dec)	上位バイト	下位バイト
受信待ち	0	00h	00h

印字状態

フェーズ	数値 (Dec)	上位バイト	下位バイト
印刷中	0	00h	00h

- 本体の起動時は受信状態になっています。印刷が始まると印刷中フェーズ（フェーズ種類：印字状態、フェーズ番号：印刷中）になり、PCにそのフェーズステータスを送ります。印刷が終了すると、本体はPCへ印刷終了ステータスを送ります。印刷終了ステータスを送ると、本体は受信状態フェーズステータス（フェーズ種類：受信状態、フェーズ番号：受信待ち）になり、PCにそのフェーズステータスを送ります。
本体は、印字中にエラーが発生しなければ、併せて、印刷終了ステータスを送ります。

5.2.8 通知番号

通知	値
無効	00h
カバーオープン	01h
カバークローズ	02h
クーリング(開始)	03h
クーリング(終了)	04h
剥離待ち状態	05h

5.2.9 電池残量

電池残量はプロトコルによって形式が異なります。

bit	7	6	5	4	3	2	1	0
意味	プロトコル							

プロトコル: “0b000” (RJ-2031 / 2131 / 2140 / 2150 / 2030 / 2050 / 3050 / 3150)

bit	7	6	5	4	3	2	1	0
意味	プロトコル			電池残量				

電池残量				値				
フル				0b00000 (0)				
ハーフ				0b00001 (1)				
ロー				0b00010 (2)				
要充電				0b00011 (3)				
AC アダプター使用中				0b00100 (4)				

プロトコル: “0b001” (RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB)

bit	7	6	5	4	3	2	1	0
意味	プロトコル			AC アダプター	予約	電池残量		

AC アダプター				値				
AC アダプターに接続中				1				
AC アダプターが接続されていない				0				

電池残量				値				
フル				0b000 (0)				
多い				0b001 (1)				
ハーフ				0b010 (2)				
ロー				0b011 (3)				
要充電				0b100 (4)				
バッテリー未装着 ^{*1}				0b111 (7)				

^{*1} RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB で使用可

6. 印刷コマンド一覧

ASCII コード	バイナリコード	詳細
NULL	00	無効指令
ESC @	1B 40	初期化
ESC i S	1B 69 53	ステータス情報リクエスト
ESC i a	1B 69 61	動的コマンドモード切り替え
ESC i !	1B 69 21	ステータス自動通知モード切り替え
ESC i U w	1B 69 55 77	媒体情報追加コマンド
ESC i z	1B 69 7A	印刷情報指令
ESC i d	1B 69 64	余白量(フィード量)指定
ESC i CAN	1B 69 18	キャンセル
ESC i M	1B 69 4D	各種モード設定
ESC i w	1B 69 77	印刷後ウェイト指定
M	4D	圧縮モード選択
g	67	ラスタグラフィックス転送
Z	5A	ゼロラスタグラフィックス
FF	0C	印字指令
Control-Z	1A	排出動作を伴う印字指令

7. 印刷コマンド詳細

NULL 無効指令

ASCII:	NULL
16 進:	00

説明

- 読み飛ばします。
- 機種によって指定のバイト数を送ります。
661 バイト: RJ-2031 / 2131 / 2140 / 2150 / 2030 / 2050
RJ-3235B / 3255WB
RJ-4235B / 4255WB
350 バイト: RJ-3230B / 3250WB / 3050 / 3150
RJ-4230B / 4250WB

ESC @ 初期化

ASCII:	ESC	@
16 進:	1B	40

説明

- 本体を初期化します。
- 印字キャンセルにも使用されます。詳細は、「[7. ESC i CAN キャンセル](#)」を参照ください。

ESC i S ステータス情報リクエスト

ASCII:	ESC	i	S
16 進:	1B	69	53

説明

- 本体にステータス情報を送信するよう要求します。
- 32 バイトの固定サイズでステータス情報が返ってきます。

注意:

本コマンドは印字データを本体に送信する前に、1度だけ送ってください。
印刷中に本コマンドを送信しないでください。

ESC i a 動的コマンドモード切り替え

ASCII:	ESC	i	a	{n1}
16 進:	1B	69	61	{n1}

パラメーター

{n1}の定義

0: ESC/P

1: ラスター(こちらに必ず切り替えてください)

3: P-touch Template (デフォルト)

6: SBPL emulation

7: EPL emulation (RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB で使用可)

8: DPL emulation (RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB で使用可)

FF: 静的に設定されている本体デフォルトのモード

説明

- 動的に本体のコマンドモードを切り替えます。本コマンドを受信した本体は電源が切られるまで指定したコマンドモードとして動作します。
- プリンターにラスターデータを送信する前にはラスターモードに切り替える必要があります。
そのためにラスターモードに切り替えるコマンドを送ります。

ESC i ! ステータス自動通知モード切り替え

RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB で使用可

ASCII:	ESC	i	!	{n1}
16 進:	1B	69	21	{n1}

パラメーター

{n1}の定義

0: 通知する (RJ-4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB デフォルト)

1: 通知しない (RJ-3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB デフォルト)

説明

- 動的に、印刷中にステータスを自動的に通知するか切り替えます。本コマンドを受信した本体は電源が切られるまで指定したコマンドモードとして動作します。
- 印刷中にステータスを取得しないシステムを構築する場合に利用します。

ESC i U w 媒体情報追加コマンド

ASCII:	ESC	i	U	w	1	{d1...d127}
16 進:	1B	69	55	77	01	{d1...d127}

パラメーター

{d1} ~ {d127} 媒体情報を表します。

説明

- 本体の媒体情報を更新します。
- 用紙サイズ設定の「用紙コマンドの書き出し」機能で出力されるコマンドをプリンターに送信してください。

注意:

本体に媒体を検知するセンサーがないため、印刷のたびに今から印刷するデータの媒体情報を知らせる必要があるため、明示的に媒体情報追加コマンドを送る必要があります。

用紙サイズ設定の「用紙コマンドの書き出し」

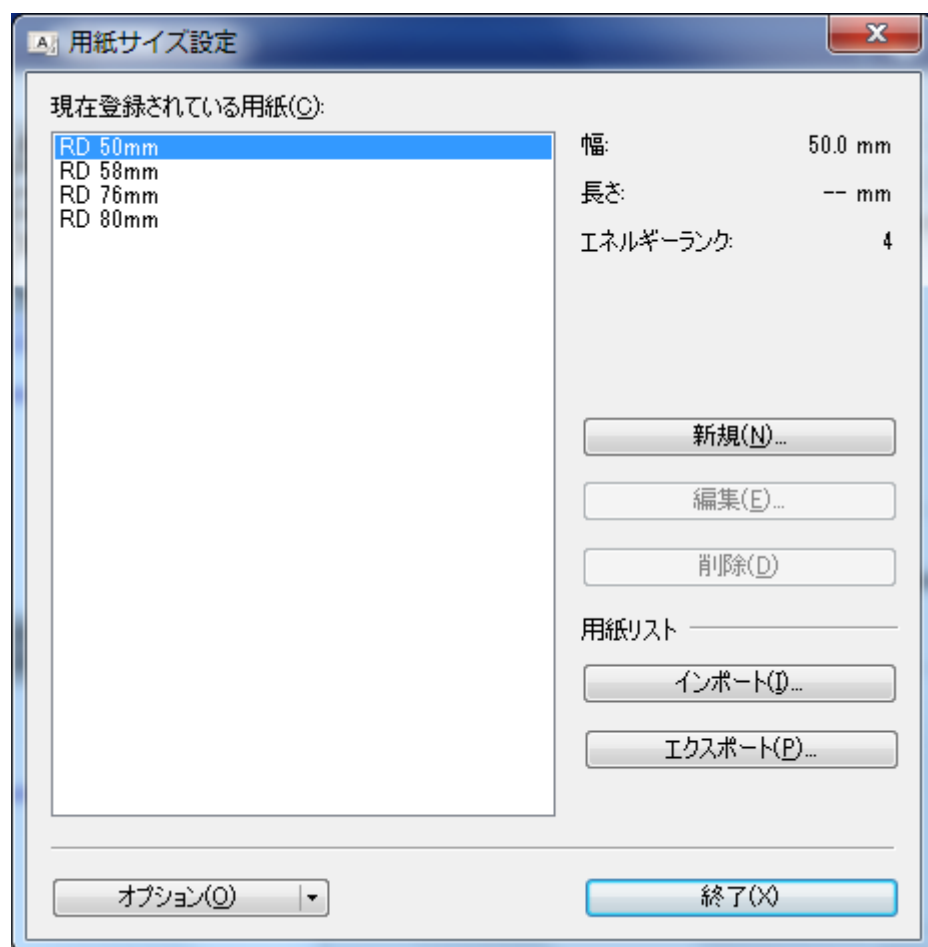
1. 事前の準備

以下の 2 つをあらかじめインストールをしてください。

- ・弊社 RJ-XXXX プリンタードライバー
- ・バイナリエディター

用紙サイズ設定の「用紙コマンドの書き出し」で出力されるデータは 2 進化されたファイル（バイナリファイル）です。そのため、バイナリファイルの内容は、バイナリエディターを使って表示/確認してください。

2. [デバイスとプリンター]フォルダーを開き、対象プリンターを右クリックして、印刷設定画面を表示します。
[基本設定]タブの[用紙サイズ設定]ボタンをクリックして、用紙サイズ設定ダイアログが表示されます。
(下図参照)
印刷したい用紙サイズを選択して、[オプション]ボタンの[用紙コマンドの書き出し]を選択すると、用紙コマンドを書き出すためのファイル書き出しダイアログを表示し、入力したファイル名で保存します。



3. 保存したファイルをバイナリエディターで開きます。
表示される数字の羅列がコマンドデータです。(下図参照)
表示されたコマンドデータの中で、赤枠で囲んだところが媒体情報追加コマンドになります。
その中で、オレンジの枠線で囲んだ 127byte が媒体情報になります。
媒体情報を追加するときに使用してください。

1B 69 61 01 1B 69 55 4F 10 37 33 00 84 00 00 00	.ia..iU0.73.....
00 00 00 00 1B 69 55 77 01 3F 04 50 00 00 50 00	iUw.?.P..P.
00 40 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 B9 01	.@.....ケ.
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	
00 00 00 00 00 00 38 30 6D 6D 00 00 00 00 00 00	80mm.....
00 00 00 00 00 00 33 2E 31 35 22 00 00 00 00 00	3.15".....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 18 00 00 00	
00 00 00 18 00 00 00 00	

ESC i z 印刷情報指令

ASCII:	ESC	i	z	{n1}	{n2}	{n3}	{n4}	{n5}	{n6}	{n7}	{n8}	{n9}	{n10}
16 進:	1B	69	7A	{n1}	{n2}	{n3}	{n4}	{n5}	{n6}	{n7}	{n8}	{n9}	{n10}

説明

- 印刷情報を指定します。
- {n1} ~ {n10} の定義

{n1}:	有効フラグ: どの値が有効か指定します。 0x02 : 用紙種類 0x04 : 用紙幅 0x08 : 用紙長さ 0x80 : 本体でリカバー処理する^{*1} ^{*1} RJ4235B / 4255WB / 4230B / 4250WB / 3235B / 3255WB / 3230B / 3250WB の場合、印刷中にプリンターからステータス(印刷開始、印刷終了、フェーズチェンジ、クーリング)を送信しません。
{n2}:	用紙種類 長尺テープ: 0Ah ダイカットラベル: 0Bh
{n3}:	{n3}: 用紙幅 単位: mm
{n4}:	{n4}: 用紙長さ^{*2} 単位: mm 用紙幅 80 mm の長尺テープの場合、n3 = 50h、n4 = 00h と設定してください。 ^{*2} 用紙種類が長尺テープなら、n4=00h を設定してください。
{n5-n8}:	ラスターライン数 = $n8 \times 256 \times 256 \times 256 + n7 \times 256 \times 256 + n6 \times 256 + n5$
{n9}:	先頭ページ: 0、その他のページ: 1
{n10}:	0: EEPROM の設定値(固定)

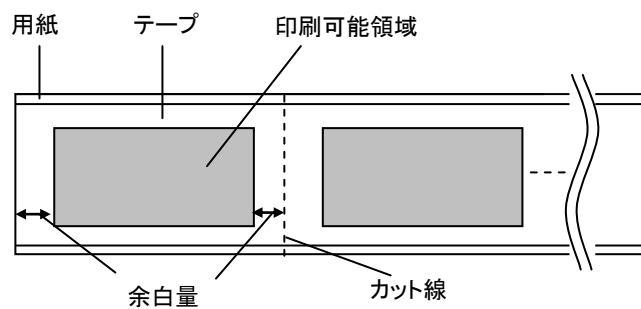
ESC i d 余白量（フィード量）指定

ASCII:	ESC	i	d	{n1}	{n2}
16 進:	1B	69	64	{n1}	{n2}

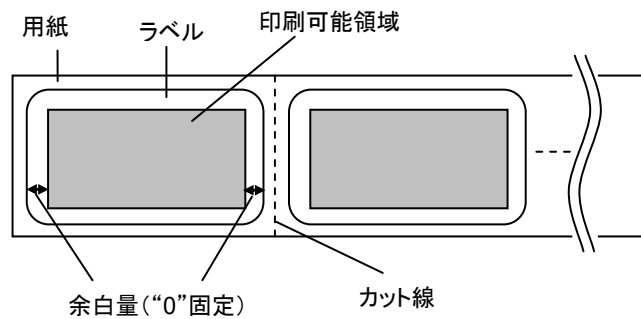
説明

- 余白量を指定します。
- 余白量 (ドット) = $n1 + n2 * 256$
- ダイカットラベルでは、印字領域の端を余白量 0 とします。

(a) 長尺テープ



(b) ダイカットラベル



ESC i CAN キャンセル

RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B / 3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B の場合:

ASCII:	ESC	i	CAN
16 進:	1B	69	18

RJ-3150 / 3050 / 2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 の場合:

ASCII:	ESC	@
16 進:	1B	40

説明

- 送信中の印刷データをキャンセルします。ただし、非圧縮の場合は、送信タイミングによって、前のページの印刷をキャンセルすることがあります。
- 本体が「[Control-Z 排出動作を伴う印字指令](#)」を受け取った後は、印刷はキャンセルされません。
- RJ-3150 / 3050 / 2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 では、初期化コマンドとしても使用します。
詳細は、「[7. ESC @ 初期化](#)」を参照ください。

ESC i M 各種モード設定

ASCII:	ESC	i	M	[n1]
16 進:	1B	69	4D	{n1}

説明

- Bit 0 (Mask Bit = 0x01): (予約領域)
Bit 1 (Mask Bit = 0x02): (予約領域)
Bit 2 (Mask Bit = 0x04): (未使用)
Bit 3 (Mask Bit = 0x08): 180 度回転設定
Bit 4 (Mask Bit = 0x10): ピーラー設定
Bit 5 (Mask Bit = 0x20): (未使用)
Bit 6 (Mask Bit = 0x40): (未使用)
Bit 7 (Mask Bit = 0x80): (未使用)

【設定内容】

・ピーラー設定

- 1: ピーラーによってラベルを剥離する。
0: ピーラーによってラベルを剥離しない。

・180 度回転設定

- 1: 180 度回転して印刷する。
0: そのまま印刷する。

ESC i w 印刷後ウェイト指定

RJ-4255WB / 4235B / 3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B で使用可

ASCII:	ESC	i	w	[n1]
16 進:	1B	69	77	{n1}

説明

- 1 ページ印刷完了ごとに指定時間ウェイトします
- ウェイト時間を 0.1[sec] (=100[msec]) 単位で指定する
00h: ウェイトなし／ノンストップ印刷有効 (デフォルト)
01h～FFh: ウェイト 0.1[sec]～25.5[sec] / ノンストップ印刷無効

M 圧縮モード選択

ASCII:	M	{n}
16 進:	4D	{n}

パラメーター

{n}の定義

- 0 無圧縮モード (有効)
- 1 予約 (無効)
- 2 TIFF

説明

- 圧縮モードを選択する。データ圧縮はラスタグラフィック転送のデータ内でのみ有効です。
- RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B / 3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B で TIFF 圧縮モードのコマンドを確認したい場合にはレジストリの追加が必要です。詳しくは、「[4.2.1 事前の準備](#)」を参照下さい。

[TIFF (Pack Bits)]

- 1バイト単位。
- 同一データが連続する場合は、その個数とその1バイトのデータを指定します。
異なるデータが連続する場合は、その個数と異なるデータすべてを指定します。
- 同一データを指定する場合の個数の指定は、(実際の数 - 1)を負の数で指定します。
異なるデータの個数指定の場合も、そのバイト数 - 1を正の数で指定します。
- 以上の処理の結果、圧縮データが、RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B では 104 バイトを、RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B / 3150 / 3050 では 72 バイトを、RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 では 54 バイトを超える場合は、すべて異なるとみなします。
この結果、長さを指定する1バイトを含めて、トータルで、RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B の場合は 105 バイトに、RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B / 3150 / 3050 の場合は 73 バイトに、RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 の場合は 55 バイトになります。

サンプル

ラスターグラフィックス転送の1ラスタ一分:

非圧縮時: 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 22 22 23 BA BF A2 22 2B.....

圧縮時: ED 00 FF 22 05 23 BA BF A2 22 2B ...
a b c

- 00h が 20 バイト続きますので、20 Dec → 19 Dec → 13 Hex、負の数にして ED Hex です。
従って、ED 00
- 22h が 2 バイト続きますので、2 Dec → 1 Dec → 1 Hex、負の数にして FF Hex です。
従って、FF 22
- 次の 6 バイトはそのまま展開します。6 Dec → 5 Dec → 5 Hex。
従って、05 23 BA BF A2 22 2B

この後も非圧縮データのバイト数分続けます。最後まで、00 Hex であっても省略できません。

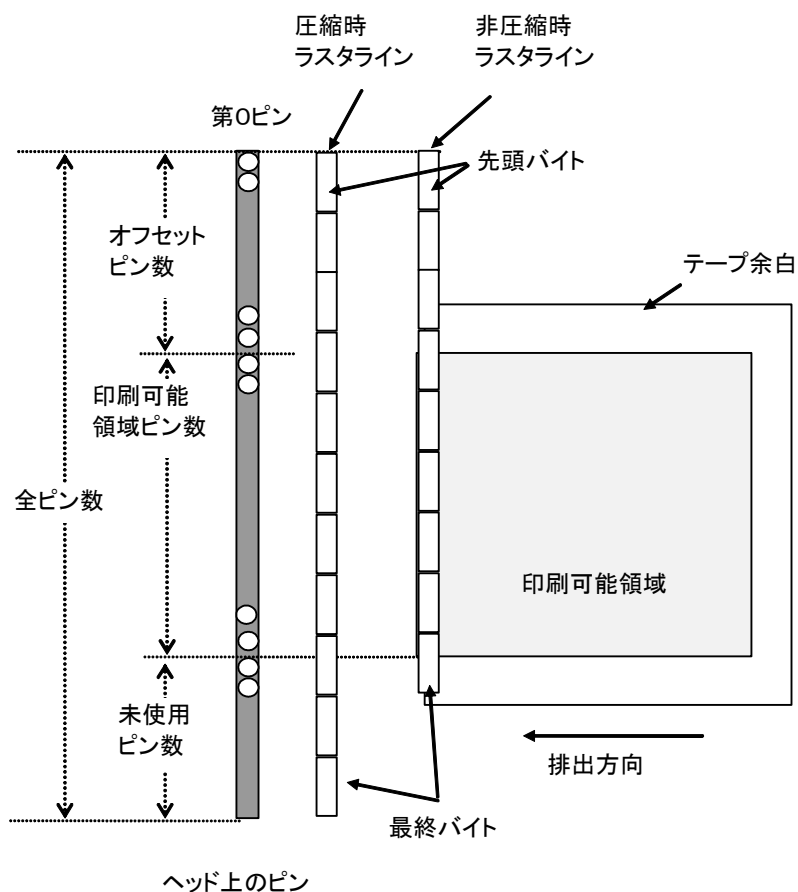
「TIFF 圧縮モード」の説明

圧縮時は、「ラスターグラフィックス転送」コマンドのデータ部分は、全ピン数のバイト数を元にします。

	全ピン数	全ピン数のバイト数
RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B	832	104
RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B / 3150 / 3050	576	72
RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150	432	54

下図で、非圧縮時には、オフセットピン数と印刷可能領域ピン数を加えた部分をバイトデータにしますが、圧縮時には、更に、未使用ピン数を加えてデータにします。

すなわち、圧縮時には、テープ幅に関わらず、本体で展開すると RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B では 104 バイト、RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B / 3150 / 3050 では 72 バイト、RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150 では 54 バイトになります。



g ラスターグラフィックス転送

ASCII:	g	{s}	{n}	{d1}	...	{dn}
16 進:	67	{s}	{n}	{d1}	...	{dn}

パラメーター

{s} 00h

{n} ラスターデータ(d1～dn)のバイト数を表します。

ただし、圧縮モードで無圧縮が指定されている場合は以下の値を使用します。

n = 104: RJ-4255WB / 4235B / 4250WB / 4230B

n = 72: RJ-3255WB / 3235B / 3250WB / 3230B / 3150 / 3050

n = 54: RJ-2031 / 2131 / 2030 / 2050 / 2140 / 2150

{d1～dn} ラスターデータ

Z ゼロラスタグラフィックス

ASCII:	Z
16 進:	5A

説明

- ラスターラインをゼロデータで満たします。

FF 印字指令

ASCII:	FF
16 進:	0C

説明

- 複数ページ印字する際、最後以外のページ末に印字指令として使用します。

Control-Z 排出動作を伴う印字指令

ASCII:	Control-Z
16 進:	1A

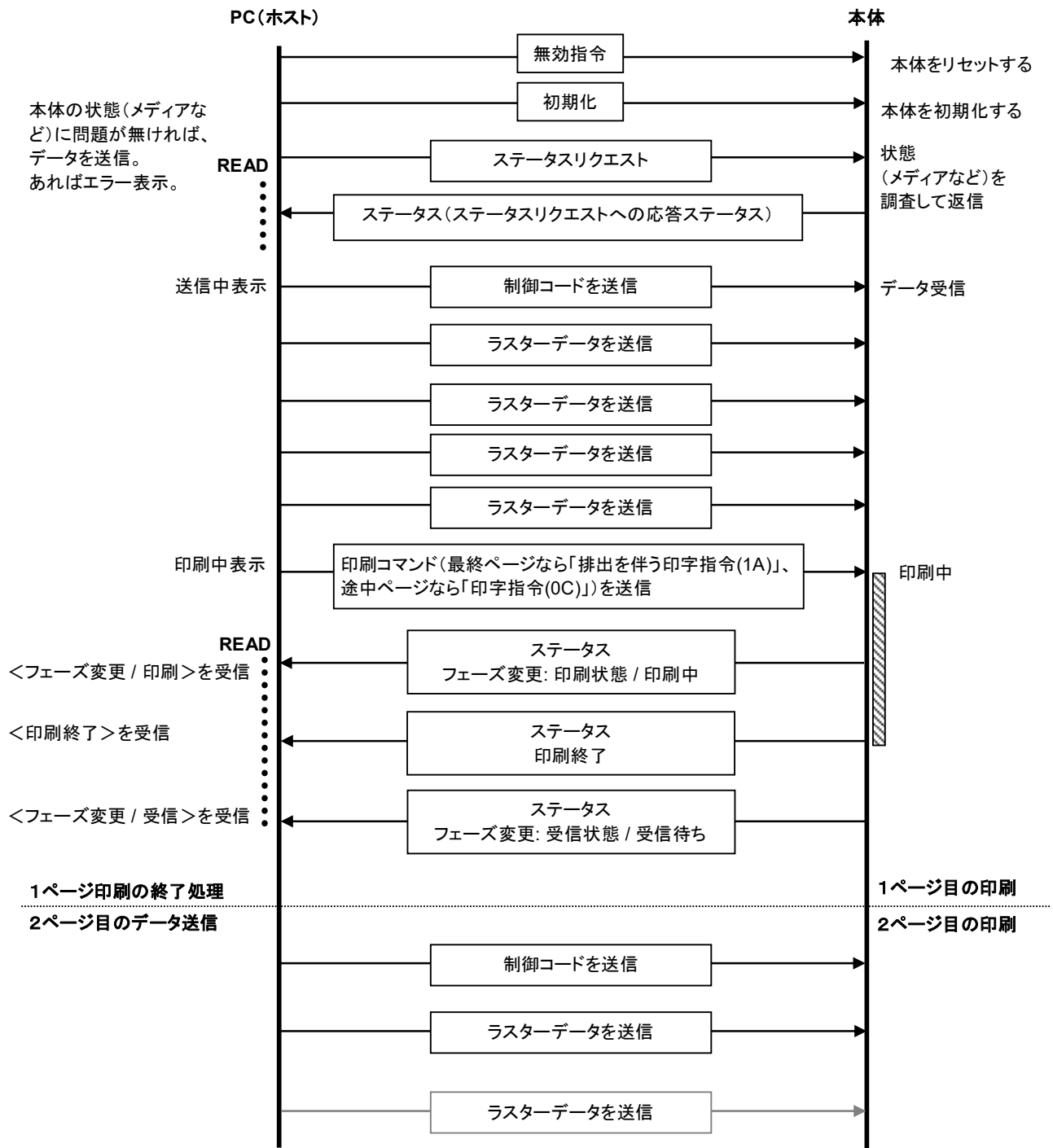
説明

- 最後のページ末に印字指令として使用します。

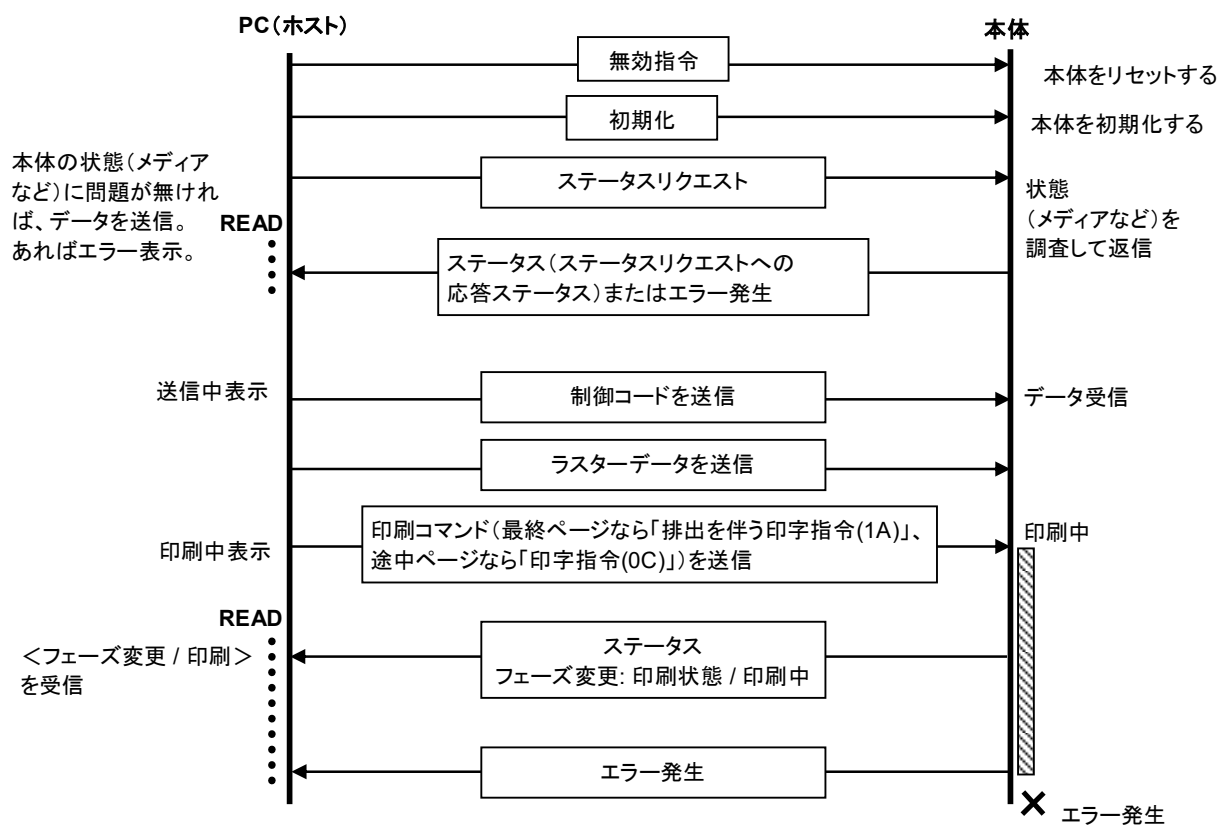
8. 本体フロー

RJ-XXXX プリンターでは、バッファリング印刷を行います。バッファリング印刷とは、1 ページ分の印刷データを受信すると印刷を開始する印刷方式です。

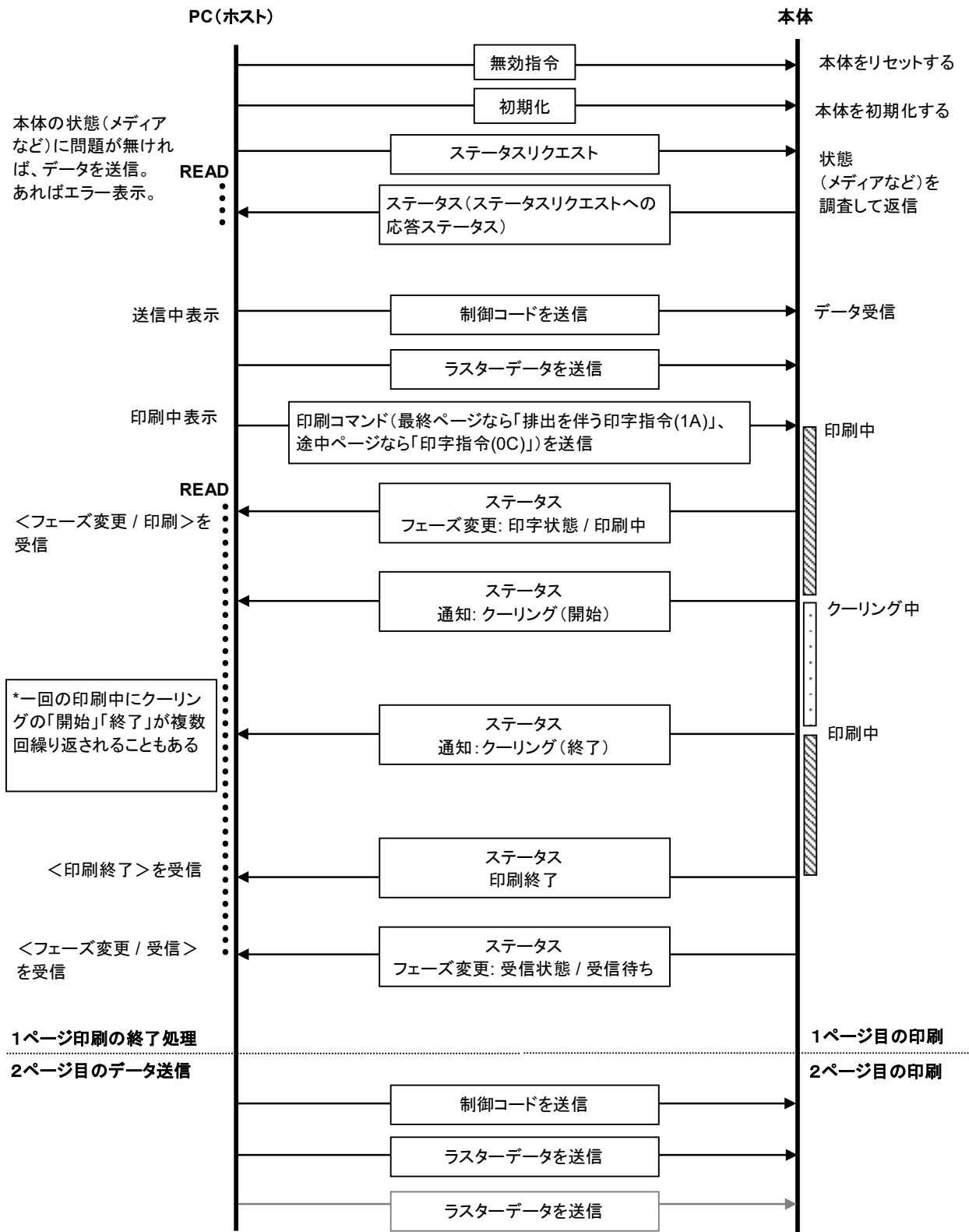
8.1 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷通常フロー



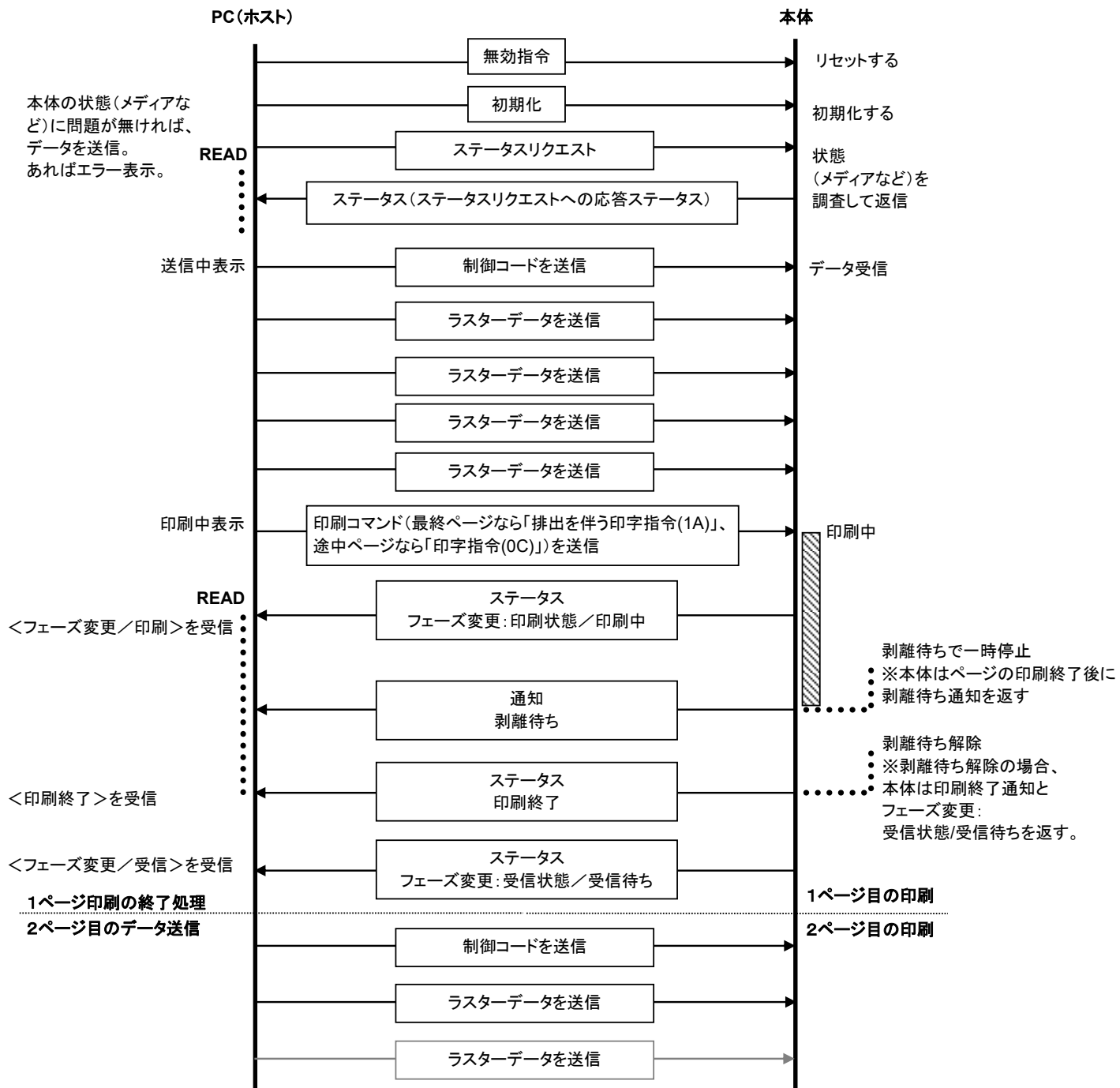
8.2 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷エラーフロー



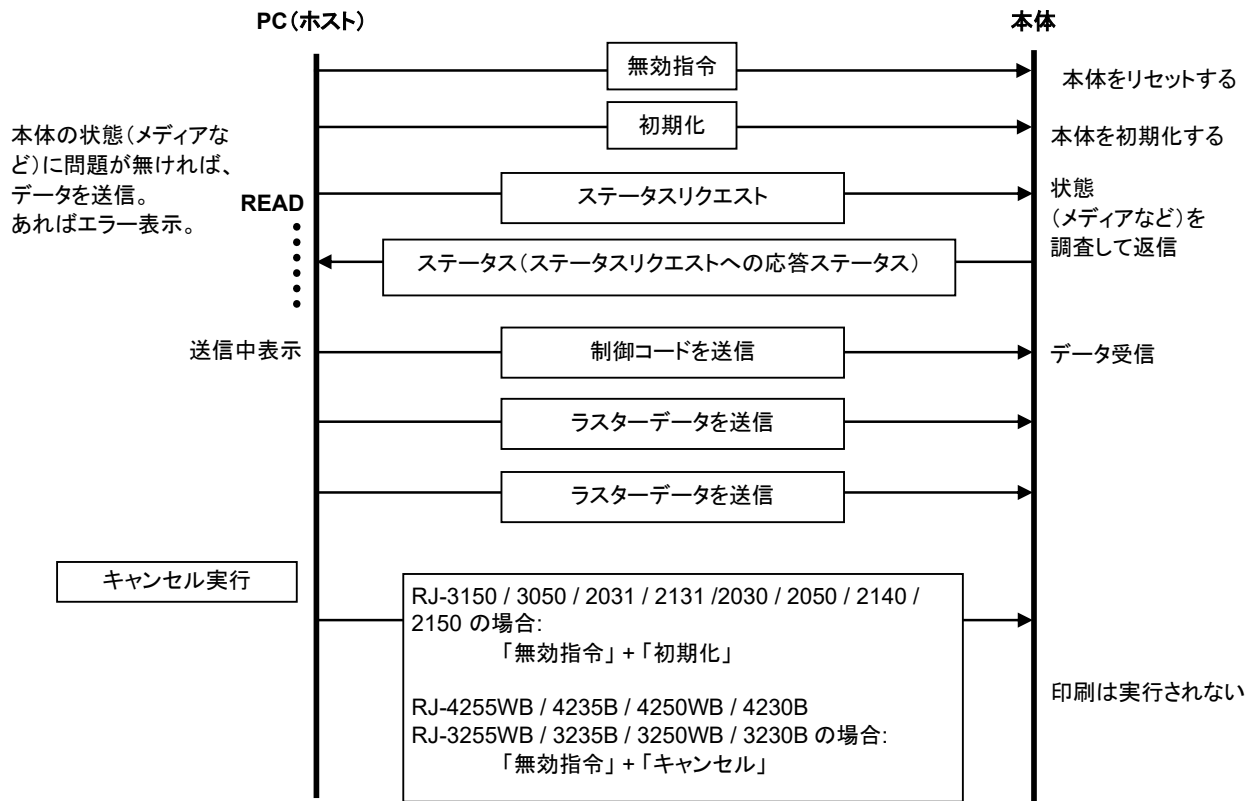
8.3 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷クーリングフロー



8.4 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷剥離待ち / 再開フロー



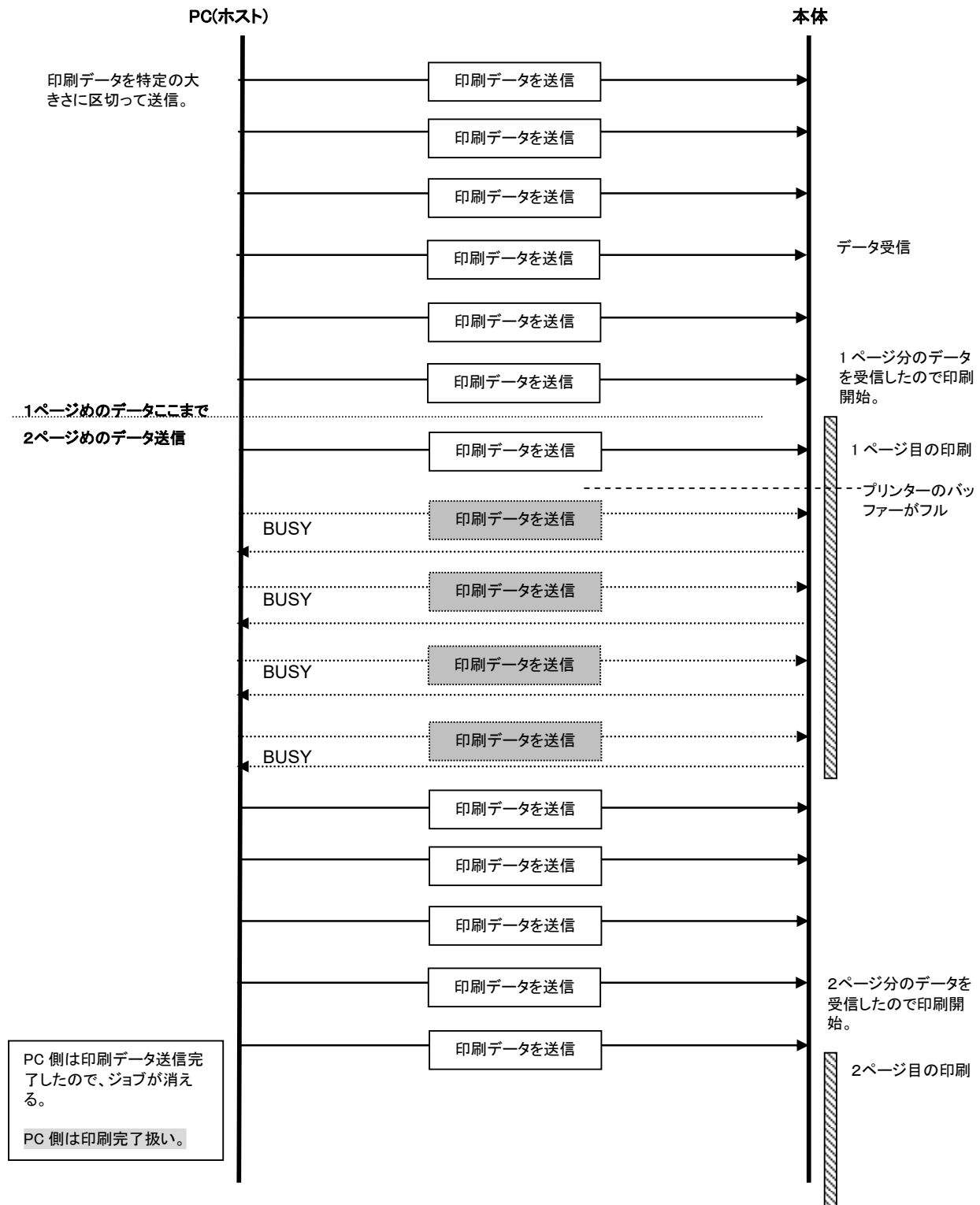
8.5 USB / Bluetooth 接続バッファリング印刷キャンセルフロー



8.6 ネットワーク（標準 TCP/IP ポート）接続バッファリング印刷通常フロー

※ネットワーク時は OS のポートモニターから印刷データがそのまま送信される。

以下の例は 2 ページの印刷を行った時。



付録 A: 開発者ツールサイト(Brother Developer Center)のご紹介

下記のサイトに、開発者の方に役立つ情報掲載しております。ぜひご参照ください。

- ・アプリケーション、ツール、SDK の紹介
- ・よくある質問

<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall>

brother